

作成日：R3年4月9日

令和3年度第1回 高松圏域自立支援協議会 運営会議議事録

| | |
|-------|---|
| 日付 | 令和3年4月9日(金) |
| 時間 | 10:30-11:30 |
| 開催会場 | かがわ総合リハビリテーションセンター第2研修室 |
| 参加機関等 | 香川中部養護学校・高松養護学校・高松市健康づくり推進課・高松市障がい福祉課・三木町福祉介護課・直島町住民福祉課、かがわ総合リハビリテーション成人支援施設・障害者就業・生活支援センターオリーブ・障害者生活支援センターほっと・障害者生活支援センターたかまつ・障害者生活支援センターあい・相談支援センターりゅううん・支援センターgaryu・高松市社会福祉協議会訪問介護事業所・地域活動支援センタークリマ・高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点 順不同 計18名 |

議題1：各部会等活動報告

| | |
|----|---|
| 議事 | <p>主な報告内容)</p> <ul style="list-style-type: none">・医療的ケア部会：今年度については、母子保健コーディネーターと相談支援専門員、医療的ケア児等コーディネーターの連携について進めていきたい。・居宅サービス事業所連絡会：居宅サービス事業所へのアンケートについて、集計できた。近日中に公表予定。・地域生活支援拠点検討部会：相談支援専門員と生活介護、短期入所事業所等サービス提供事業所の連携の促進と自立生活援助事業における好事例を収集し普及啓発することに力を入れる。・就労支援部会：香川県内の就労移行支援事業所の特色等を掲載している「就労移行支援事業所ガイドブック」が完成した。・精神保健福祉部会：「精神科病院からの高齢精神障害者の退院支援のポイント」が完成した。今年度、関係機関に周知していく予定。・相談支援部会：3月部会をZOOMを活用しての参加も可とした。ZOOMを活用して参加した事業所が過半数を占め満足度も高かったため、4月度以降もZOOMを活用する予定。・身体障害者支援部会：今年度は、「防災」「ピアサポート活動」「地域移行」をテーマに協議を進めていく予定。 |
|----|---|

| | |
|-------|--|
| | ※発達障害部会、こども部会、当事者団体・家族会連絡会は欠席のため報告なし。知的障害者支援部会については特記なし。 |
| 決定事項 | — |
| 今後の動き | — |

| | |
|---------------|--|
| 議題 2：事務局からの報告 | |
| 議事 | 主な報告内容) ・今年度の運営会議の持ち方について ・令和 2 年度収支報告 ・令和 3 年度予算について |
| 決定事項 | 運営会議において各部会等の進捗状況の報告、意見交換を効果的に行うために開催月を減らし時間を延長することとした。開催月は、令和 3 年 6、7、9、10、12 月 令和 4 年 3、4 月とし、時間を 90 分とする。 |
| 今後の動き | 年度末の報告をどのように効果的に行うか再検討し、4 月中に事務局より再提案する。 |

| | |
|----------|--|
| 議題 3：その他 | |
| 議事 | 主な報告内容) 高松養護学校、中部養護学校のサービス担当者会議への参加について |
| 決定事項 | 保護者、学校、サービス提供事業所、相談支援専門員が連携して切れ目のない支援を展開するために積極的に学校がサービス担当者会議に出席することを確認した。 |
| 今後の動き | — |

令和3年度第1回高松圏域自立支援協議会運営会議

日時) 令和3年4月9日(金) 10:30-11:30

場所) かがわ総合リハビリテーションセンター第2研修室

参加者) 香川中部養護学校 高松養護学校

高松市健康づくり推進課 高松市障がい福祉課 三木町福祉介護課 直島町住民福祉課

就労支援部会) かがわ総合リハビリテーションセンター成人支援施設

障害者就業・生活支援センターオリーブ

精神保健福祉部会) 障害者地域生活支援センターほっと

相談支援部会) 障害者生活支援センターたかまつ

身体障害者支援部会) 障害者生活支援センターあい

知的障害者支援部会) 相談支援センターりゅうん

発達障害部会) 発達障害者支援センター「アルプスかがわ」

こども部会) 地域生活支援センターこだま

医療的ケア部会) 一般社団法人 garyu

当事者団体・家族会連絡会) 相談支援事業所ライブサポートセンター(欠)

居宅サービス事業所連絡会) 高松市社会福祉協議会訪問介護事業所 地域活動支援センタークリマ

会長、事務局) 高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点

議題)

①各部会等, 事務局報告(★マークから報告開始)

○就労支援部会

○精神保健福祉部会

「精神科病院からの高齢者の退院支援のポイント」資料の確認と広報について報告(資料あり)。

○相談支援部会

3月に実施したZoomと会場での部会について報告。

○身体障害者支援部会

○知的障害者支援部会

○発達障害部会

○こども部会

(口頭報告) 福祉サービスのアンケート集計について経過報告。

○医療的ケア部会★

○当事者団体・家族会連絡会

○居宅サービス事業所連絡会

居宅サービス事業所の困りごと調査の集計を報告。

○地域生活支援拠点検討部会

②事務局より

- ・今年度の運営会議のもちかたについて
- ・R2 年度収支報告
- ・R3 年度予算について

③その他

- ・高松養護学校よりサービス担当者会議への参加について

精神科病院からの高齢者の退院支援のポイント

③

令和3年4月1日 高松圏域自立支援協議会

(精神科病院からの高齢者の退院支援のポイント作成に至った背景)

平成29年2月の厚生労働省に設置された「これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会」報告書では、「地域生活中心」という理念を基軸としながら、精神障がい者の一層の地域移行を進めるための地域づくりを推進する観点から、精神障がい者が、地域の一員として、安心して自分らしい暮らしができるよう、医療、障害福祉・介護、社会参加、住まい、地域の助け合い、教育が包括的に確保された「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築を目指すことを新たな理念として明確にしました。

本報告書を受け、高松圏域自立支援協議会では、この理念を実現させるための一つの要素として、高齢者福祉分野の関係機関との連携強化は不可欠と判断し、高齢者福祉分野の関係機関との連携に関する課題を抽出するために、令和2年1月に高松圏域自立支援協議会 精神保健福祉部会員を対象にアンケート調査を行いました。アンケート結果によると、「ケアマネジャーや地域包括支援センター等高齢者福祉分野の関係機関との連携についてスムーズについていない。」「高齢者福祉分野の支援者へ精神障がい者支援に関心を持ってもらい、正しい知識を持ってもらう必要がある。」の3点が主な課題として抽出されました。

本協議会では、アンケート結果をもとに協議を重ね、精神科病院から退院する高齢者の支援において関係機関が役割を認識し支援に当たることが高齢精神障がい者の退院支援をスムーズにする要因となると判断し、「精神科病院からの高齢者の退院支援のポイント」の作成に至りました。

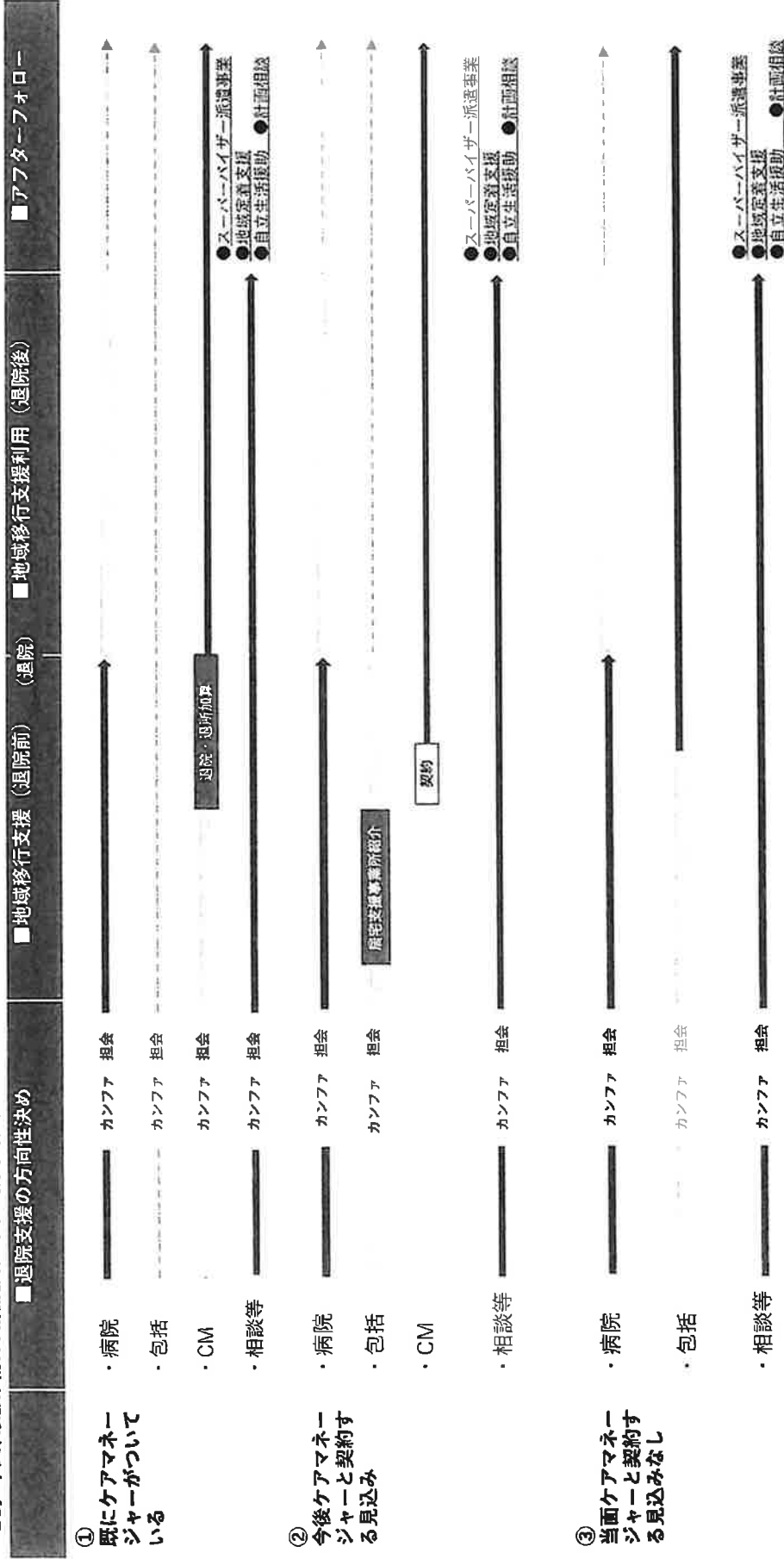
【精神科病院からの高齢者の退院支援におけるポイント】

- 1) 精神科病院から退院する際に退院の方向性を地域包括支援センターやケアマネージャー、相談支援専門員等（以下包括等という）と決定するべきと精神科病院が判断した場合は、関係者を招集し、ケア会議を開催する。
- 2) 精神科病院入院時に包括等がかかわっていたケースについては、本人が希望する場合、退院支援の方向性を決める際に連携することを基本とする。但し、入院により計画相談の相談支援専門員との契約が切れた場合や入院中に要介護認定となり、退院後、地域包括支援センターとしてのかかわりがなくなること等が想定される場合は、地域への関係性の移行という観点からしかるべき機関へスムーズに引き継ぎができるように配慮する。
- 3) 包括等は、退院時にスムーズに支援ができるよう、入院中に面会に赴く等、本人、精神科病院担当者等との十分な情報交換と支援方針を共通認識しておく。
- 4) 入院前にケアマネージャーや計画相談の相談支援専門員がついている場合も、必要によっては後方支援として入院前の住所地を管轄する地域包括支援センターや基幹相談支援センターがかかわる。
- 5) 退院前の段階で病状が不安定な場合等、ケアマネージャーや相談支援専門員だけでは対応が出来ないと想定される場合は、予め訪問看護、保健師の訪問、スーパーバイザー派遣事業、自立生活援助事業、地域定着支援事業等、既存のサービスを利用することも検討する。
- 6) 退院支援の方向性を決める際、今後ケアマネージャーや計画相談の相談支援専門員と契約する見込みの場合でも、まずは入院前の住所地を管轄する地域包括支援センターや基幹相談支援センターがかかわる。その上で早めにケアマネージャーや相談支援専門員を選定し、今後の支援の方針を共有する。退院後はケアマネージャーや相談支援専門員が中心になって支援するが、必要によって地域包括支援センターや基幹相談支援センターも後方支援としてかわる。
- 7) 退院後、当面ケアマネージャーや相談支援専門員と契約する可能性が低い場合は、入院前の住所地を管轄する地域包括支援センターや保健所（高松市は健康づくり推進課）基幹相談支援センターと連携する。
- 8) 保健所（高松市は健康づくり推進課）は、対象者が65歳以上でも措置入院の場合は、本人、病院、保健所との間で、退院後支援計画を作成し、地域生活等を支援する体制と連携をとることになっている。（計画作成は本人の同意によるが、同意が得られなかった場合も、計画によらず支援を実施する）また、措置入院以外の入院形態に関しても、必要時連携する。
- 9) 地域移行支援事業、地域定着支援事業、自立生活援助事業、スーパーバイザー派遣事業等、高齢精神障害者が利用できるサービス等について包括等と共有する機会を持ちたい。

（注）上記の内容では、十分な支援ができないと判断した場合には、関係機関間で協議したうえで方向性を決定する。

例）退院後に入院前の住所地で生活する予定はなく、退院後の住所地も決まっている場合は、新たな住所地を管轄する基幹相談支援センターに相談する 等

10) 本人、家族、精神科病院スタッフ、包括等で協議し、高齢福祉分野の機関と連携して地域移行支援事業を利用することが決定した場合



● (注) 相談等とは、計画相談や地域移行支援事業等を担当する相談支援専門員または、基幹相談支援センター等の相談支援専門員のことを言う。

● ● → 本人を中心となってかわる。 : 他の方支援を指すが、必要に応じて支援に関わる

表の見方

(令和2年度 高松圏域自立支援協議会 運営事業予算管理表)

■収入の部

| 項目 | 予算 | 実績 |
|---------------|-----------|-----------|
| 1 委託料 | 1,000,000 | 1,000,000 |
| 2 医ケア部会/研修参加費 | 0 | 2,000 |
| 合計 | 1,000,000 | 1,002,000 |

■支出の部

| No | 部会名 | 最終調整 予算 | 支払額 | 予算との差額 | 消化率 | 科目別予算内訳 | | | | | 雑費その他 | 支払内訳 | |
|----|----------------|------------|-----------|---------|------|---------|--------|--------|---------|--------|--------|------|---|
| | | | | | | 報償費 | 旅費交通費 | 消耗品費 | 印刷製本費 | 通信運搬費 | | | 委託費 |
| 1 | 就労支援部会 | 157,000 | 243,314 | -86,314 | 155% | 0 | 0 | 3,529 | 229,810 | 9,975 | 0 | 0 | ●じこりロ。(各社印刷)会報(生活用品・付録) ●B2アଙ୍କート(切手・封筒) ●就労移行ガイドブック(3,500部) |
| 2 | 精神保健福祉部会 | 62,440 | 61,804 | 636 | 99% | 46,000 | 0 | 0 | 13,200 | 2,604 | 0 | 0 | ●リアポーター(雑金・切手) ●社会福祉印刷 ●社会福祉印刷代●広出冊出張用紙代 |
| 3 | 相談支援部会 | 32,280 | 15,180 | 17,100 | 47% | 0 | 11,880 | 0 | 3,300 | 0 | 0 | 0 | ●社会福祉印刷(図書/事業所アଙ୍କート) |
| 4 | 身体障害者支援部会 | 80,000 | 16,450 | 63,550 | 21% | 0 | 0 | 0 | 16,450 | 0 | 0 | 0 | ●社会福祉印刷 ●権利保護研修会体金 |
| 5 | 知的障害者支援部会 | 8,650 | 7,990 | 660 | 92% | 4,000 | 0 | 0 | 3,990 | 0 | 0 | 0 | ●社にも必要の物(印刷・郵送切手) |
| 6 | 発達障害部会 | 170,630 | 170,630 | 0 | 100% | 0 | 0 | 0 | 167,830 | 2,800 | 0 | 0 | ●印刷機・ビスマスアଙ୍କート(印刷代・郵送切手・封筒) ●特別支援教育コーディネーターアଙ୍କート・印刷費 |
| 7 | こども部会 | 40,812 | 39,778 | 1,034 | 97% | 5,000 | 0 | 5,324 | 10,890 | 18,564 | 0 | 0 | ●別室案内文(切手) ●医ケア(チラシ印刷・シール) ●医療的ケア児童コーチャーターアଙ୍କートアワード研修講師謝状 |
| 8 | 医療的ケア部会 | 26,680 | 35,278 | -8,598 | 132% | 12,000 | 0 | 110 | 23,000 | 168 | 0 | 0 | ●配付リービスマス事業所アଙ୍କート(印刷・封筒・切手) |
| 9 | 居宅リービスマス事業所連絡会 | 51,000 | 28,570 | 22,430 | 56% | 0 | 0 | 500 | 13,380 | 14,690 | 0 | 0 | ●コミュニケーションボード作成(印刷・文具・郵送料) |
| 10 | 当事者団体・家族会連絡会 | 148,012 | 147,954 | 58 | 100% | 0 | 0 | 1,854 | 145,200 | 900 | 0 | 0 | ●福祉行動指針スーパードキュメント(資料印刷・刷金) ●緊急時対応用紙(資料印刷・刷金) |
| 11 | 地域生活支援拠点検討部会 | 74,323 | 69,440 | 4,883 | 93% | 48,000 | 0 | 0 | 21,440 | 0 | 0 | 0 | ●HP更新・資料委託費(1年分) ●文房 ●印刷費(領収・運送委託・主体会) ●切手(修学送付用) |
| 12 | 事務局 | 150,173 | 165,612 | -15,439 | 110% | 0 | 0 | 550 | 70,790 | 9,572 | 84,700 | 0 | |
| | 合計 | 1,002,000 | 1,002,000 | 0 | 100% | 115,000 | 11,880 | 11,867 | 719,280 | 59,273 | 84,700 | 0 | |

【令和3年度 高松圏域自立支援協議会 運営事業予算管理表】

■収入の部

| 項目 | 予算 |
|----------|-----------|
| 1 委託料 | 1,000,000 |
| 2 その他の収入 | |
| 合計 | 1,000,000 |

■支出の部

| No | 部会名 | 予算 | 科目別予算内訳 | | | | | | 支払内訳 | |
|----|--------------|-----------|---------|--------|--------|---------|--------|---------|--------|--|
| | | | 報償費 | 旅費交通費 | 消耗品費 | 印刷製本費 | 通信運搬費 | 委託費 | | 経費その他 |
| 1 | 就労支援部会 | 228,000 | 23,000 | 0 | 0 | 205,000 | 0 | 0 | 0 | 心臓リハビリ、A型認知症移行事業所設備会行方、高齢フォアローラー等、諸経費金交通費 社会福祉印刷代、A型ハンドブック印刷代 |
| 2 | 精神保健福祉部会 | 70,000 | 50,000 | 0 | 0 | 16,000 | 4,000 | 0 | 0 | ピアサポート一括金、資料印刷代、資料郵送代 |
| 3 | 相談支援部会 | 45,000 | 10,000 | 8,910 | 10,000 | 8,000 | 2,000 | 0 | 6,090 | 復旧出張相談旅費、即金費同日代、書籍郵送代、事務用品、印刷製本費等 |
| 4 | 身体障害者支援部会 | 40,000 | 32,000 | 0 | 0 | 5,000 | 2,000 | 0 | 1,000 | 即金福祉印刷代、研修印刷費金、印刷郵送代、講師経費代 |
| 5 | 知的障害者支援部会 | 15,000 | 10,000 | 0 | 0 | 5,000 | 0 | 0 | 0 | 研修印刷費金 (5,000×2)、資料印刷代 |
| 6 | 発達障害者部会 | 30,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 30,000 | 0 | 0 | 書籍郵送代 |
| 7 | こども部会 | 20,000 | 5,000 | 0 | 0 | 10,000 | 5,000 | 0 | 0 | 即金福祉印刷、送付金印刷、研修金印刷、書籍郵送代 |
| 8 | 医療的ケア部会 | 20,500 | 15,000 | 3,000 | 0 | 0 | 2,000 | 0 | 500 | 坂ノコラーネーター用印刷代、印刷委託代、印刷委託代、書籍郵送代 |
| 9 | 居宅サービス事業所連絡会 | 50,000 | 30,000 | 0 | 0 | 10,000 | 10,000 | 0 | 0 | サービス提供責任者研修印刷費、資料印刷、郵送料 |
| 10 | 当事者団体・家族会連絡会 | 147,954 | 0 | 0 | 1,854 | 145,200 | 900 | 0 | 0 | コミュニケーションボード作成 (印刷、文房具郵送代) |
| 11 | 地域生活支援拠点検討部会 | 85,000 | 60,000 | 0 | 0 | 25,000 | 0 | 0 | 0 | 研修料、即金印刷、研修資料印刷費 |
| 12 | 事務局 | 248,546 | 0 | 0 | 3,000 | 80,000 | 10,000 | 115,000 | 40,546 | 講師料、ホームページ監修費、運営会議資料印刷代、研修金印刷印刷代 |
| | 合計 | 1,000,000 | 235,000 | 11,910 | 14,854 | 509,200 | 65,900 | 115,000 | 48,136 | |

R3年度 運営会議のもちかたについて（案）

運営会議において、各部会等の活動の進捗状況の報告、意見交換を行う時間を確保することで、各部会の活動がより充実、活性化することを旨とする。

時間) 9:20-10:50 (1時間半) 各部会10分報告 & 意見交換×6部会=60分+全体通じて意見交換15分
全体協議、周知事項15分

開催月) 4 6 7 9 10 12 1 3 / 5月と11月は全体会を開催するため、8月はお盆期間中、2月は祝日によりそれぞれ休み
* 必要であればメールでの周知・協議を行う。

カレンダー

| 月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 |
|----------|-------------|-----------------------------------|-------------------------------------|----------|-----------------------------------|-------------------------------------|-------------|-----------------------------------|-------------------------------------|----------|-----------------------------------|-------------------------------------|
| 運営 会議 | 休み * 全体会 | 9:20- 10:50 | 9:20- 10:50 | 休み お盆 | 9:20- 10:50 | 9:20- 10:50 | 休み * 全体会 | 9:20- 10:50 | 9:20- 10:50 | 休み 祝日 | 9:20- 10:50 | 9:20- 10:50 |
| 報告 部会 | | 事務局 就労 精神 相談 身体 知的 | 発達 こども 医ケア 当事者 居宅 拠点 | | 事務局 就労 精神 相談 身体 知的 | 発達 こども 医ケア 当事者 居宅 拠点 | | 事務局 就労 精神 相談 身体 知的 | 発達 こども 医ケア 当事者 居宅 拠点 | | 事務局 就労 精神 相談 身体 知的 | 発達 こども 医ケア 当事者 居宅 拠点 |

* 全体会 (5, 11月) 以外の月も全体会へ記録を送付し、委員全体への共有を図る。

* 運営会議後の11:00より相談支援体制の協議などを目的に委託相談支援事業所の連絡会を開催。

(案)

R3年度 協議会の目標

| no. | 部会名 | 今年度の目標 | 4～6月の振り返り | 課題 | 7～9月の目標 |
|-----|-----|--------|-----------|----|---------|
|-----|-----|--------|-----------|----|---------|

1 就労支援部会

2 精神保健福祉部
会

3 相談支援部会

4 身体障害者支援
部会

5 知的障害者支援
部会

「親なきあと」「地域移行」で
ワーキンググループ (WG) を作
り、部会メンバーを振り分けて
それぞれ隔月程度の開催で取り
組みを進めていく。部会は年3回
程度開催し共有の場とする。WG
で検討することで、テーマを
絞って考えられ、内容に応じた
新メンバーの参加も検討でき、
それぞれ取り組みが一層進め

6 発達障害部会

R3年度 協議会の目標

| no. | 部会名 | 今年度の目標 | 4～6月の振り返り | 課題 | 7～9月の目標 |
|-----|--------------|--------|-----------|----|---------|
| 7 | こども部会 | | | | |
| 8 | 医療的ケア部会 | | | | |
| 9 | 居宅サービス事業所連絡会 | | | | |
| 10 | 当事者家族会連絡会 | | | | |
| 11 | 地域生活支援拠点検討部会 | | | | |
| 12 | 事務局 | | | | |

7 こども部会

8 医療的ケア部会

9 居宅サービス事業所連絡会

10 当事者家族会連絡会

11 地域生活支援拠点検討部会

12 事務局

作成日：3年4月7日

令和2年度第10回 高松圏域自立支援協議会 相談支援部会議事録

| | |
|-------|---|
| 日付 | 令和3年3月18日(木) |
| 時間 | 9:30~10:30 |
| 開催会場 | かがわ総合リハビリテーション福祉センター 2階 第1研修室&ZOOM |
| 参加機関等 | 高松市障がい福祉課、地域生活支援センターこだま、障害者生活支援センターあい、障害者地域生活支援センターほっと、障害者相談支援センターりゅううん、地域活動支援センタークリマ、支援センターこがも、相談支援事業所ライブサポートセンター、生活支援センターサンサン、相談支援事業所おりがみ、高松市社協障がい者相談支援センター、障害者相談支援事業所ミルキーウェイ、相談支援事業所ウェルネスサポート、障害者相談支援事業所かつが、みき相談支援センター、あじの里地域生活支援センター、障害者相談支援センターつなぐ、相談支援センターしののめ、支援センターキラキラ、自立ケアシステム香川、相談支援センターフリーダム、障害者生活支援センターたかまつ、高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点、三木町福祉介護課 順不同 計26名 |

| | |
|---------------------------|--|
| 議題1：コロナ禍における、Zoomでの会議について | |
| 議事 | ・今後のことを考えてのZoomでの部会のデモンストレーションを、支援センターほっとに協力を依頼して実施 |
| 決定事項 | ・今回、試しに実施してみて、思ったよりはスムーズに行えたが、実際、ネット環境がない事業所もあることから、ハイブリッドが良いと考える。 |
| 今後の動き | ・来月から、ハイブリッドで開催することとなる。 ・ただ、音声聞き取りにくい部分があったので、改善していく。 |

| | |
|-------------------------|---|
| 議題2：今年度の振り返りと来年度の計画について | |
| 議事 | ・先月メールで意見集約したもののまとめから |
| 出された意見等 | ・あらかじめ事前にテーマを決めて先に意見を集めてから当日を迎えた方が効率的である ・ざっくりばらんな相談ができる場が必要 ・エリアでのグループスーパービジョンの動きがもう少しできれば、地域での少人数での取り組み動きができるのではないかと。 ・研修会などがなかったことが残念である。 ・精神科病院からの退院支援や社協の権利擁護センターの説明を聞きたい。 |

| | |
|--|---|
| | <p>来年度の目標について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 部会のメンバー全体の意見が集約できるような部会を目指す。 2 ワーキンググループ（以下：WG）の目的を明確にし、ゴールを目指す。 3 相談支援専門員全体のスキルアップを目指す。 <p>以上のことを目標に、以下の取り組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○毎月の部会（ZOOM 等も検討する） ○プランの作成・検証等の研修実施（方法は検討中） ○各地域（エリア別）での事例検討会の実施と、連携体制整備や相談体制を整える。 |
|--|---|

| | |
|--------------------------|---------------------------|
| <p>議題 3： 計画相談の進捗状況確認</p> | |
| <p>議事</p> | <p>・計画受け入れ可能事業所の確認</p> |
| <p>決定事項</p> | <p>・年度末で、受け入れは少なめである。</p> |

| | |
|----------------------------|--|
| <p>議題 4：WG について進捗状況の共有</p> | |
| <p>報告内容</p> | <ol style="list-style-type: none"> ① ・重度訪問介護等 24 時間体制に関する WG 話し合いを一度行った。現在の状況の重度訪問介護や重度の障がい者の方たちの課題等の情報共有を行った。時間は来年度を予定しており重度訪問介護の事業所の方に意見や情報をもらうことを進めていく。 ② ショートステイに関する WG 3 月中旬市役所で行った。短期入所について情報や思うことを聞いた。実際に支給されている日数をどのように利用できているか？次回は 6 月開催予定である。 ③ 子どもの支援に関する教育との連携等 昨年度就学前の研修についてしたのと同じように、学校との連携という題目で研修できればと思う。具体的にはこども部会で話し合いや必要に応じて皆さんに意見をもらいながら模索していく。 ④ 計画作成に伴う研修や検証に関する事 開催できていない。予定としては災害時や緊急時の計画を中心に計画作成の研修等を行うことができたと思う。部会からもご意見等あれば参考にしたいのでいただければと思う。 |